

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和 7 年 3 月 30 日				
合同会社LiLi ハーモニー						
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	2	活動の場と学習する場をできるだけ1階と2階に分けて取り組めるようにしている。	もう一つ部屋が欲しいとの意見あり
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	6	1	できるだけ児童一人一人のニーズに応じて対応できるように基準の倍以上に職員を配置するようにしている	男性職員が少ないので男性職員を増やすこと
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	2	活動や運動の場と学習する場を分けて取り組めるようにしている。	室内に階段があるが車椅子利用者はいない
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	毎日清掃を行い、清潔で心地よい空間の維持に努めている。活動に合わせて1階と2階を使い分けている	児童の使ったファイルや教材などの片付けと整理を徹底したい
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	個別の部屋を求めるときには閉めきりで使えるように工夫している	クールダウンの空間を確保する
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	2	非常勤職員とも情報共有を行うことで共通認識が持てるように努力している	フルタイム職員は参画出来ている
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	モニタリングや支援会議等での保護者の意向をできるだけ業務改善に生かすようにしている	保護者向けの意見箱の有効活用
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	2	職員が自主的に職務の内容を工夫して働く職場作りを目指している（自ら考え・働く人材作り）	職員間の連携の強化
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	5	事業所内の第三者委員へ事業所運営の情報提供をして意見をいただき、業務改善に生かしている	今後第三者評価実施して業務改善に生かしていく
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	資格取得講習会への参加について、受講料を援助し、積極的に推進している。	事業所内での研修のさらなる充実を図る
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	1	利用者の経験や体験が広がるようなプログラムを作成した	二月に公表
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	アセスメントで利用者の実態をしっかりと把握して作成	利用者の実態がしっかりと把握できるようなアセスメントシートの工夫
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	利用者の実態を複数の職員で把握して保護者の思いと利用者の思いに寄り添った支援計画を作成するようにしている	6ヶ月に1回のモニタリングの充実
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	利用者の課題を共有、確認して支援	利用者の課題を確認する場を多く持つ
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	保護者支援でインフォーマルなアセスメントを取るようにしている	フォーマルアセスメントの活用を増やす

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	必要な支援内容を支援計画の中に記載	地域支援・地域連携の場を増やしていきたい
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	1	担当が原案作成し、職員で話し合って確認・実施	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	2	さまざまな活動を取り入れている	活動内容のさらなる工夫を行う
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	個別活動は平日中心とし、集団活動は学休日に設定	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	4		毎日の実施が出来ていない 総括にて記入
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	1	6		毎日の実施が出来ていない 総括にて記入
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	1		毎日記録を記入して支援の検証・改善につなげるよう周知徹底する
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	2	5		地域交流として餅つき大会の参加・児童館の利用を行っているが、今後は交流を増やしたい
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0		職員間の連携をしっかりとこない、他の係の職務理解にも務めさせたい
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1	学校との連携は取れている	医療とつながっているこどもの医療連携を強化していく
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	1		中高生が対象の事業所なので、回答しにくい内容
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	3		今後情報提供が行えるようにしたい
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0	6		発達支援センターの有効活用
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	3	地域の餅つき大会への参加や児童館利用を行っているが、今後はこれまでに以上に交流を深めたい	地域や児童館の行事やイベントなどの情報を収集して参加する機会を増やしていく
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	6	参加する機会が見つけれない	協議会の情報を収集して参加の機会を伺う

	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	2	家庭での様子。学校での様子、事業所での様子を共有し子どもの発達課題や、長所、伸ばしたいところについて	家族支援を充実させる
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	3	家族からの申し出でペアトレの実施や、受験に向けての家庭での支援法などの学習会を持っている	ペアレントトレーニングや保護者会の実施を継続する
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	契約時に説明	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	子どもの意思を尊重している	家族支援を充実させる
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0	保護者の思いを支援計画に反映している	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	保護者思いを丁寧にしっかり受け止め助言を行っている	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	5	今年度は7月と2月に実施。2月には受験を控えている保護者に対してきめこまかな情報提供を行った	保護者会の開催を増やす
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	今年度の苦情は2件。適切に対応している	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	1	HPやBANDというSNSを利用して連絡を密に行っているが、SNSに未参加の職員もいる	HPやSNSの活用の促進
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	留意した支援を行っている	SNSにての情報発信の際の個人情報の取り扱いについて研修を行い周知する
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	正しい理解につながるよう分かりやすく丁寧な言葉かけに留意している	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	4		地域向けのイベントを計画し地域に開かれた事業運営をめざす
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0		保護者会やモニタリングの機会を通して各種マニュアルに書いての説明と共有を行い、訓練の周知も行う。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0		業務継続計画の訓練を定期的に実施する
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	1	アセスメントやモニタリングの際にこどもの現況を確認している。	I型糖尿病、てんかんについての研修の実施で職員の理解と共通確認
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1	アレルギーについて家族から丁寧に聞き取り適切に対応している	医師の指示書はもらっていないので今後指示書をもらうように保護者と連携する
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0		安全計画に関する職員の意識啓発、救命救急法、応急処置などの研修を定期的に実施する
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	1		面談やモニタリング時に周知する

52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	再発防止についてその都度再発防止委員会を実施している。	再発防止委員会の実施
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	年に数回職員研修を実施している	年に数回研修を実施
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0	身体拘束について研修を年に数回実施してやむを得ず身体拘束する3つのことを確認	やむを得ず身体拘束を必要とする利用者がいるときに説明と個別支援計画に記載する